

平成29年度 総合評価の実施方針

平成29年7月
国土交通省 関東地方整備局
港湾空港部

平成29年8月1日以降に公告する工事より適用するものです。

◆本運用方針に基づき個別の工事に適用される評価項目等は、各工事の入札説明書を参照してください。

◆本方針の内容は予告なく変更する場合がありますので、ご承知おき願います。

《 目 次 》

I . 平成29年度の基本方針

II . 基本方針に基づく取り組み

1. 透明性・客観性の確保

2. 効率的な事務手続き

3. 企業の技術力が十分発揮出来る競争環境の確保

入札・契約及び総合評価落札方式については、「透明性・客観性の確保」、「効率的な事務手続き」、「企業の技術力が十分発揮できる競争環境の確保」、が図られるよう適正に実施する。

なお、実施に当たっては、改正品確法の基本理念、建設現場の生産性向上(平準化・ICT技術)、社会情勢、建設産業の動向等に対応できるよう、これまでの試行工事等を含めた実施内容の状況把握を行い、必要な部分について見直し等を図るものとする。

Ⅱ. 基本方針に基づく取り組み

1. 透明性・客観性の確保

- 1-① 総合評価落札方式の運用方針
- 1-② 一般競争入札方式（同時提出型）の実施

2. 効率的な事務手続き

- 2-① 総合評価落札方式の実施方針
- 2-② 総合評価落札方式タイプ選定フロー
- 2-③ 技術評価点の配点方針

3. 企業の技術力が十分発揮できる競争環境の確保

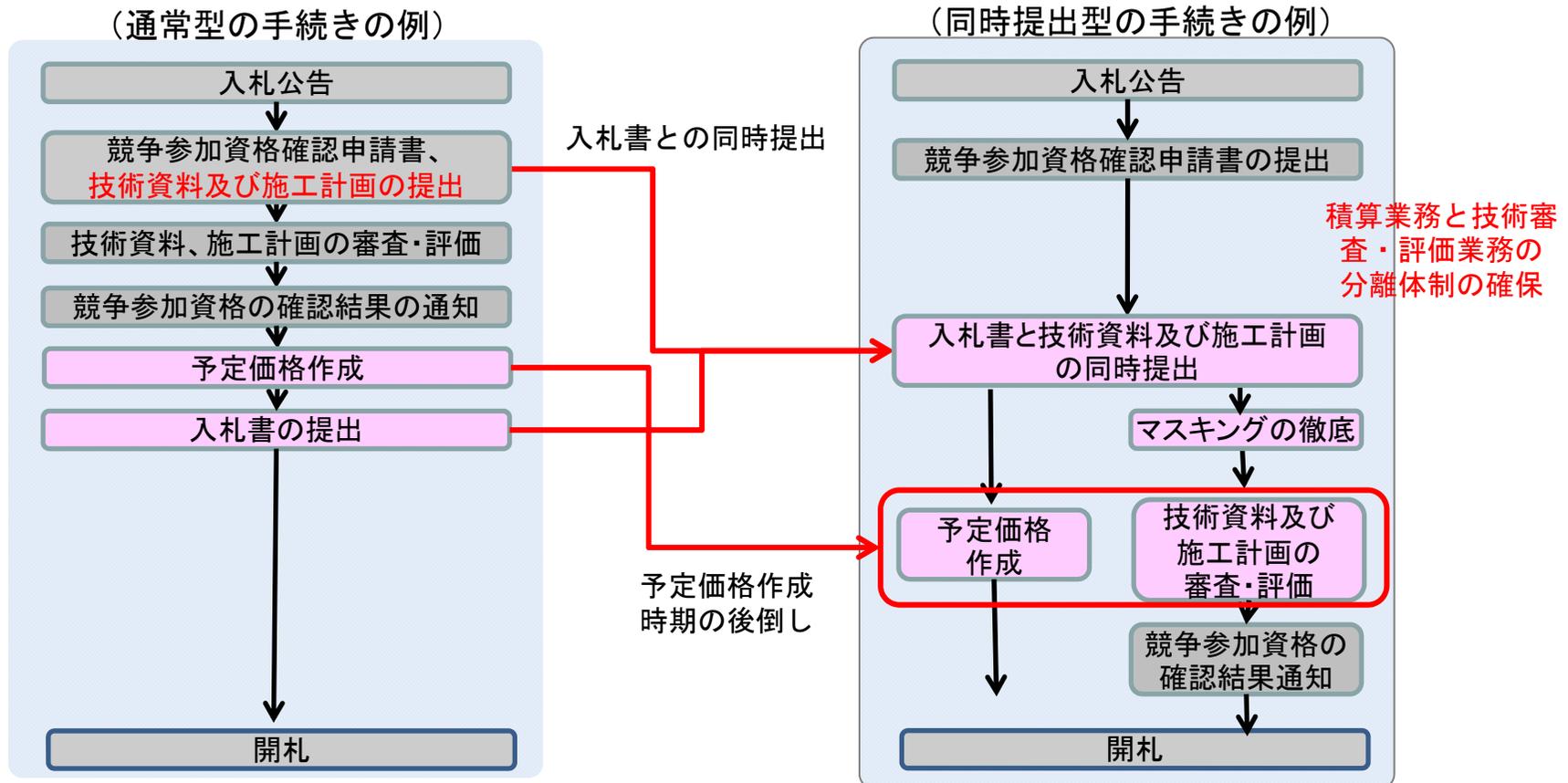
- 3-① ダンピング受注対策
- 3-② 実施方針、改訂時期
- 3-③ 不調・不落対策
- 3-④ 試行の取り組み
- 3-⑤ 各試行の技術審査基準
- 3-⑥ 技術評価点

【入札・契約】

1. 一般競争入札(政府調達協定対象WTO)
対象金額は7.4億円以上
2. 一般競争入札
5千万円以上の工事が対象。また、5千万円未満の工事についても積極的に一般競争入札を試行
3. 総合評価落札方式
原則全ての工事で実施

1-②. 一般競争入札方式(同時提出型)の実施

- (1) 発注者綱紀保持の徹底
- (2) 予定価格作成時期の後倒し、入札書と技術提案書の同時提出、総合評価落札方式における積算業務と技術審査・評価業務の分離体制の確保など、不正が発生しにくい制度への見直し。
- (3) 対象工事は、1件につき予定価格が5千万～2億円を超えない「港湾土木工事のみ」分任官(事務所発注案件)で、施工能力評価型(施工計画を加点方式により審査・評価を行う工事除く)
- (4) 平成26年4月1日以降に入札手続きを開始する工事から適用。
- (5) 技術提案書における業者名のマスキングの徹底



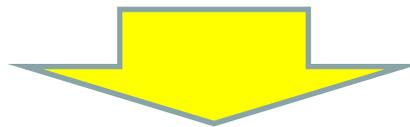
2-①. 総合評価落札方式の実施方針

平成24年2月28日に本省で開催された「総合評価方式の活用・改善等による品質確保に関する懇談会」における改善方針が以下のように示された。

- ① 施工能力の評価と技術提案の評価に二極化
- ② 施工能力の評価は大幅に簡素化
- ③ 技術提案の評価は品質の向上が図られていることを重視
- ④ 評価項目は原則、品質確保・品質向上の観点に特化

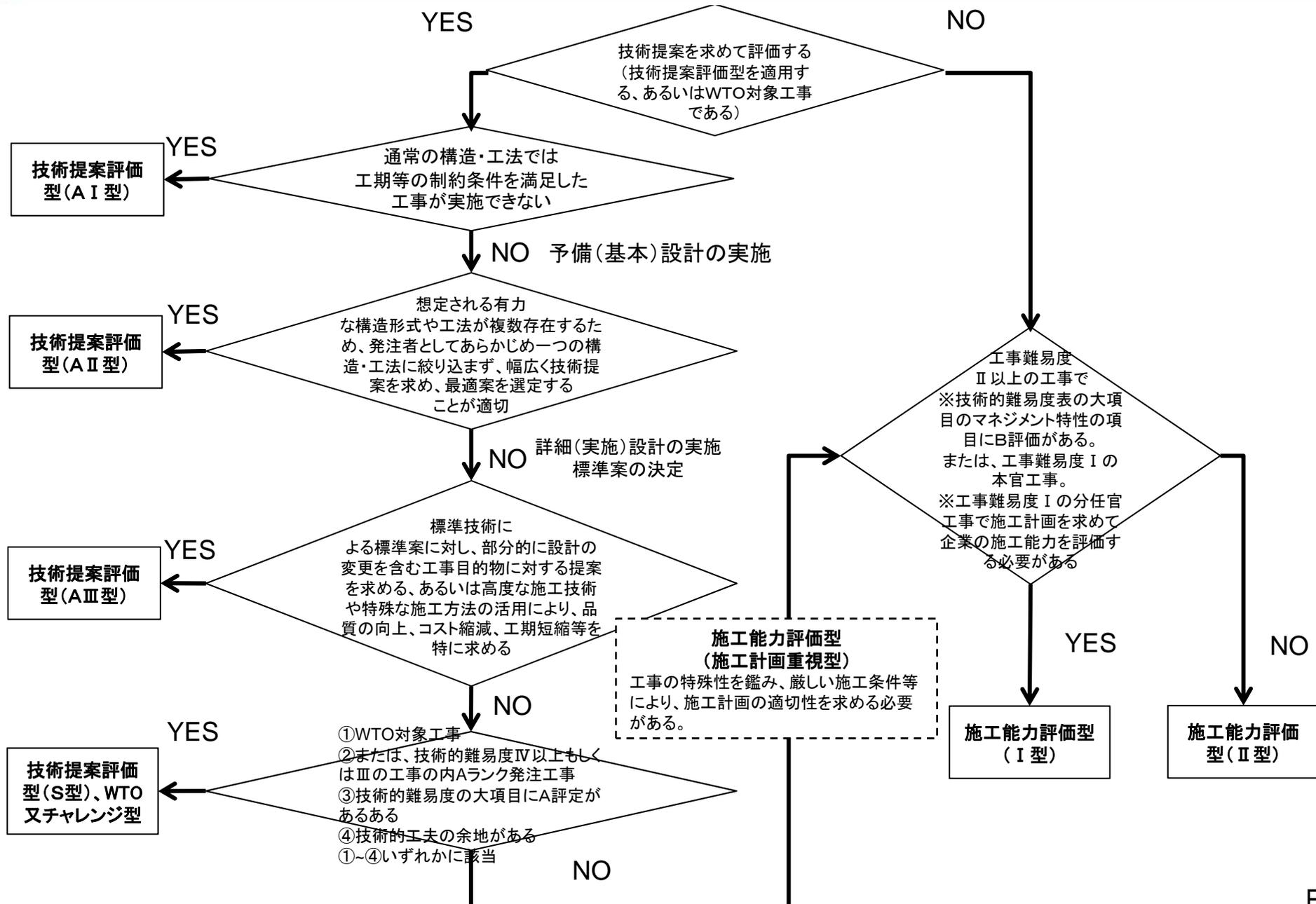
総合評価落札方式は、

- ・ 施工能力を評価する「施工能力評価型」
- ・ 施工能力と技術提案を求め評価する「技術提案評価型」とした。



平成29年度も昨年度に引き続き、
「施工能力評価型」、「技術提案評価型」の二極化(試行)を実施。
実施方針は、関東地方整備局内の統一的な考え方、また港湾空港工事の特性を踏まえた評価形式、評価項目の設定を基本とする。

2-②. 総合評価落札方式のタイプ選定フロー



2-③. 技術評価点の配点方針(継続)

- 技術評価点の加算点の評価項目は、①技術提案(施工計画)、②企業の技術力、③配置予定技術者の技術力、④地域精通度・地域貢献度とし、加算点合計及びその内訳は、「配点割合」の通りとする。
- このうち、②企業の技術力と③配置予定技術者の技術力の配点割合は同じ(1:1)とする。
- ④地域精通度・地域貢献度の配点分については、②企業の技術力の配点合計に含むものとする。

<配点割合>

施工能力評価型 (I、II型)

総合評価対象 40(30)		
施工計画※	企業の技術力※ 20(15)	技術者の技術力 20(15)

※ I型の場合のみ、施工計画は可・不可のみを評価する。
※ 「地域精通度・貢献度」の評価は「企業の技術力」の配点合計に含むものとする。

施工計画重視型

総合評価対象 40(30)		
施工計画 20(15)	企業の技術力※ 10(7.5)	技術者の技術力 10(7.5)

※ 現場条件が厳しいなど、特に施工計画を求める必要がある場合に適用する。
※ 「地域精通度・貢献度」の評価は「企業の技術力」の配点合計に含むものとする。

チャレンジ型

総合評価対象 50(40)		
技術提案 40(30)	企業の技術力※ 5(5)	技術者の技術力 5(5)

※ 「地域精通度・貢献度」は設定しない。

技術提案 評価型 (S型)

総合評価対象 60(50)		
技術提案※ 30(20)	企業の技術力※ 15(10)	技術者の技術力 15(10)

※ 「地域精通度・貢献度」の評価は「企業の技術力」の配点合計に含むものとする。

技術提案 評価型 (S型WTO)

総合評価対象 60
技術提案※ 60

※WTO対象のため、「企業の技術力」、「配置予定技術者の技術力」及び「地域精通度・貢献度等」の評価は設定しない。

技術提案 評価型 (A型)

総合評価対象 70(50)	段階選抜対象 40/60		
技術提案 70(50)	施工計画等※ 20	企業の能力等 20	技術者の能力等 20

※施工計画等は段階選抜で必要に応じて評価

※施工体制確認型でない場合は、()内の点数とする。

3-①-1. ダンピング受注対策(継続)

	H27年度	H28年度～	
	関東地方整備局	関東地方整備局	本省
低入札調査制度	1千万円以上 (原則全工種)	1千万円以上 (原則全工種)	1千万円以上 (原則全工種)
低入札調査制度 (特別重点調査) [試行]	1千万円以上 (原則全工種、一般競争)	1千万円以上 (原則全工種、一般競争)	1億円以上(全工種) 1億円未満は試行
施工体制確認型 総合評価落札方式 [試行]	1千万円以上 (原則全工種、一般競争) (1千万円未満も可能な限り適用)	1千万円以上 (原則全工種、一般競争) (1千万円未満も可能な限り適用)	1億円以上(全工種) 1億円未満は積極的活用
入札ボンド	(空港等土木工事、港湾土木 工事、港湾等しゅんせつ工事、 空港等舗装工事、港湾等鋼構 造物、その他において 6. 0億円以上	(空港等土木工事、港湾 土木工事、港湾等しゅん せつ工事、空港等舗装工 事、港湾等鋼構造物、そ の他において 7. 4億円以上	3. 0億円以上 (一般土木、建築) 7. 4億円以上(上記以外)

3-①-2. 低入札価格調査基準の運用の見直しについて(工事)

○低入札価格調査基準とは

- ・ 予算決算及び会計令 85 条に規定。
- ・ 「当該契約の内容に適合した履行がされないこととなるおそれがあると認められる場合」の基準。
- ・ この基準に基づいて算出した価格を下回った場合には、履行可能性についての調査を実施。
履行可能性が認められない場合には、失格。

平成29年4月1日以降に入札公告を行う工事から
直接工事費のうち、労務費の算入率を95%から100%に変更

【現行】

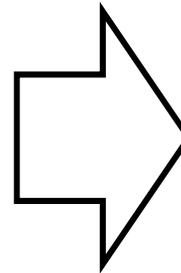
工
事

【範囲】

予定価格の7.0/10～9.0/10

【計算式】

- ・ 直接工事費 × 0.95
- ・ 共通仮設費 × 0.90
- ・ 現場管理費 × 0.90
- ・ 一般管理費等 × 0.55



【H29.4.1～】

【範囲】

予定価格の7.0/10～9.0/10

【計算式】

- ・ 直接工事費 × 0.97
 - （ 機械経費 0.95
 - （ 労務費 1.00
 - （ 材料費 0.95
- ・ 共通仮設費 × 0.90
- ・ 現場管理費 × 0.90
- ・ 一般管理費等 × 0.55

3-①-3. 低入札価格調査基準の運用の見直しについて(業務)

平成29年4月1日以降に入札公告を行う業務から

測量 : 低入札価格調査基準の諸経費の算入率を0.45から0.48へ引き上げ。

土木コンサルタント : 低入札価格調査基準の一般管理費等の算入率を0.45から0.48へ引き上げ。

【現行】

測
量

【範囲】

予定価格の6.0/10~8.0/10

【計算式】

- ・ 直接測量費 × 1.00
- ・ 測量調査費 × 1.00
- ・ 諸経費 × 0.45

【H29.4.1~】

【範囲】

予定価格の6.0/10~8.0/10

【計算式】

- ・ 直接測量費 × 1.00
- ・ 測量調査費 × 1.00
- ・ 諸経費 × 0.48

土
木
コ
ン
サ
ル

【範囲】

予定価格の6.0/10~8.0/10

【計算式】

- ・ 直接人件費 × 1.00
- ・ 直接経費 × 1.00
- ・ その他原価 × 0.90
- ・ 一般管理費等 × 0.45

【範囲】

予定価格の6.0/10~8.0/10

【計算式】

- ・ 直接人件費 × 1.00
- ・ 直接経費 × 1.00
- ・ その他原価 × 0.90
- ・ 一般管理費等 × 0.48

3-②. 実施方針、改訂時期について

実施予定項目	H29年度												H30年度				備考	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		
平成29年度入札契約・総合評価 実施方針・基準(港湾空港部)切替(8月1日)	H28年度				H29年度実施方針(H29.8.1~H30.7.31)													
入札説明書 切り替え	◆				◆													
施工実績(及び技術者施工経験) (過去15年間に完成、引渡し完了した工事)	H14.4.1以降でH29年度完成、引渡し完了含むもの												H15~H30年度					
工事成績(過去4カ年度平均)	過去4カ年度(H24~)				過去4カ年度(H25~H28)													
優良工事表彰(過去3カ年度) (安全管理優良請負者表彰:過去1カ年度) (優良下請負企業表彰:過去3カ年度)《新規》	優良工事:過去(3カ年度)H25~H28年度受賞 安全管理:過去(1カ年度)H28年度受賞				優良工事:過去(3カ年度)H27~H29年度受賞 安全管理:過去(1カ年度)H29年度受賞 優良下請負企業:過去(3カ年度)H27~H29年度受賞													
優秀工事技術者表彰(過去4カ年度) 優秀下請技術者表彰(過去4カ年度)《新規》	過去(4カ年度)H25~H28				過去(4カ年度)H26~H29年度受賞													
ボランティア活動実績(過去1カ年度)	H28年度実績												H29年度					
1) 各種試行工事《継続》 (チャレンジ、若手技術者、一括審査、作業船 保有、専門技術者資格、環境活動、地元企業 活用型)	(試行継続)																	
2) 総合評価試行評価項目(港湾版)《新規》	(新規試行)																	
職員及び関係業協会等説明会	◆(関係業協会) ◆(事務所)				関係業協会等意見交換会													

(1)不調・不落の状況

- 平成28年度※発注工事において不調不落が**18%程度**
(平成27年度は、**4%程度**)
- 関東(建設系)ではH28年度※：**19%程度**(H27年度**14%程度**)
※H28年度:H28年4月～H29年1月末時点

(2)不調・不落の要因

- 技術者を配置できない。(繁忙期、要件を満足しない)
- 金額等で折り合わない。

(3)不調・不落の対策

- 参加要件の緩和、参加資格等級の拡大。
- 工事内容の見直し、見積もりの徴収採用。

**※平成28年度は少額の撤去及び改修工事において不調不落が多く発生している。このような案件が金額等で折り合わないため、不調となったと推測。
※その他の工事においては、申請業者が指名停止となったり、配置予定技術者が他工事を受注したため辞退したケースがあった。**

3-④-1. ワークライフバランス認定企業の評価(新規)

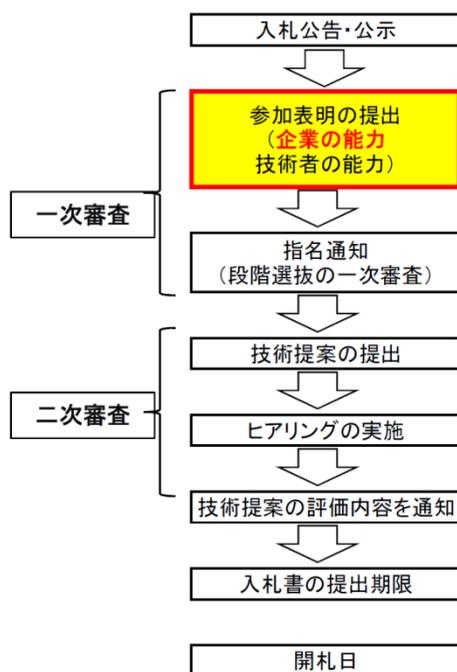
○背景

女性の活躍を推進するため、その前提となるワークライフバランスの実現等に向けて、公共調達の分野において、企業のポジティブアクション等を推進する事を目的としてワークライフバランス推進企業を評価する。

○評価タイプ、評価点

- ・港湾土木工事A等級(WTO政府調達対象事業)等の公共工事で試行。
- ・段階的選抜方式の一次審査項目としてワークライフバランス推進企業の評価項目を追加。

段階的選抜実施フロー



段階的選抜の一次審査配点例

評価項目		配点例	
企業の能力	過去15年間の施工実績	8.0点	15.0点
	過去4年間の工事成績評定点	6.0点	
	ワークライフバランス推進企業	1.0点	
技術者の能力	過去15年間の施工経験	9.0点	15.0点
	過去4年間の工事成績評定点	6.0点	
合計		30.0点	

ワークライフバランス推進企業の評価

評価項目	評価基準	配点例
企業の能力	次のいずれかの認定を受けている ・女性活用推進法に基づく認定等(えるばし認定企業等) ・次世代法に基づく認定(くるみん・プラチナくるみん認定企業) ・若手雇用促進法に基づく認定(ユースエール認定企業)	1.0点
	認定を受けていない	0.0点

3-④-2. ICT活用工事(浚渫工)の試行(新規)

○背景

ICT活用工事(浚渫工)は、国土交通省が推進する「i-Construction」に基づき平成29年度契約工事の一部で試行する。

○実施方法

- ・発注方式は「発注者指定型」と「施工者希望型」を実施。どちらの場合も必要経費を計上する。
- ・「施工者希望型」は総合評価落札方式において、競争参加者が「ICT活用工事」を希望する場合、ICT活用工事計画書を提出し、ICT活用の計画について評価する。

「施工者希望型」の評価

評価項目		評価内容	評価基準	配点例
企業 の 能力	ICT活用工事 (ICT活用計画)	①3次元起工測量 ②3次元数量計算 ③3次元出来形測量 ④3次元データの納品 の全ての段階で全面的にICTを活用の有無	・①～④の全ての段階で全面的に活用する計画の場合	2.0点
			・①～④の全ての段階で全面的に活用する計画ではない場合 ・活用しない場合	0.0点

※不履行となった場合は、請負工事成績評定点を最大5点減点する。

3-④-3. 技術提案に係わる負担への配慮(見直し)

施工計画 (提案数の変更)

	施工能力評価型		技術提案評価型	
	I 型	施工計画重視型	S型、チャレンジ型	S型、S型(WTO)
分類	標準的な施工計画	簡易な施工計画	施工上配慮すべき事項	工事全般の施工計画
提案項目数	【継続】 自由	【継続】 最大3提案	【提案数の変更】 原則最大5提案 →原則最大 3 提案	【提案数の変更】 原則最大5提案 →原則最大 3 提案

V E 提案等の技術提案 (提案数の変更)

	技術提案評価型
	S型(WTO)
提案項目数	【提案数の変更】 原則最大5提案 →原則最大 3 提案

※本取組については平成28年度から一部の工事において試行している

①チャレンジ型【(H28) 2件 → (H29) 2件程度】

担い手確保に資する地域企業の参加が想定される工事や、その他実績評価の比率を下げることにより受注機会の拡大を図ることが望ましい工事に適用。

- (1) 港湾等土木・・・ 1件予定（案件調整中）
- (2) 空港等土木・・・ 1件予定（案件調整中）

②一括審査【(H28) 1件(2工事分) → (H29) 1件(3工事分)程度】

企業の技術力審査・評価を効率化するため、提出させる技術資料（技術提案及び施工計画）の内容を同一のものとし、落札者はあらかじめ定められた開札順番で落札決定する。

- (1) 港湾等土木・・・ 1件(3工事分)発注手続完了
- (2) 空港等土木・・・ 0件

3-⑤-1. 登録海上起重基幹技能者の評価(新規)

○目的

現場に優秀な登録基幹技能者を配置することで、工事全体の品質確保を図るとともに、登録基幹技能者の更なる技術の向上に資することを目的に、総合評価方式の評価項目の一つとして「登録海上起重基幹技能者」を評価する。

○評価タイプ、評価方法

〈評価タイプ〉

施工能力評価型 及び 技術提案評価型S型(チャレンジ型及びWTO除く)

〈評価方法〉

登録海上起重機基幹技能者を活用する場合は、国土交通大臣が登録した機関が実施する登録基幹技能者講習を修了したことを証明する「登録海上起重機基幹技能者講習修了証」の写しを添付することで評価する。

また、発注者が各工事で指定する工種の施工期間に、登録海上起重機基幹技能者が1名以上、当該現場作業に従事する場合に評価する。

なお、評価対象とする登録海上起重機基幹技術者は、本競争の参加希望者又は下請予定企業が雇用する者とする。

項目	評価項目	評価基準	評価点
企業の技術力	登録海上起重基幹技能者の配置	配置する	1
		配置しない	0

○目的

工事の品質確保及び担い手の中長期的な育成・確保の観点より、優秀な現場従事技能者の活用を図ることを目的として「建設マスター(優秀施工者国土交通大臣顕彰者)」を現場従事技能者(元請又は下請け)として配置する場合に評価する。

○評価タイプ、評価方法

〈評価タイプ〉

施工能力評価型 及び 技術提案評価型S型(チャレンジ型及びWTO除く)

〈評価方法〉

建設マスター(優秀施工者国土交通大臣顕彰者)を活用する場合は、「競争参加資格確認申請書」に顕彰式典において国土交通大臣から被顕彰者に授与された「顕彰状」の写しを添付することで加算点付与の対象とする。また、本工事における当該工種の施工期間全てに1名以上従事できる場合に評価する。

項目	評価項目	評価基準	評価点
企業の技術力	建設マスターの配置 (優秀施工者国土交通大臣顕彰者)	配置する	1
		配置しない	0

○目的

地域に精通した企業の施工による工事の品質向上、また地域に根ざし住民に信頼が置かれている企業の施工による工事の円滑化を目的に、施工都県内に本店(本社)の所在の有無について評価する。

○評価タイプ、評価方法

〈評価タイプ〉

施工能力評価型 及び 技術提案評価型S型(チャレンジ型及びWTO除く)

〈評価方法〉

- ・施工都県内に本店(本社)の所在の有無について評価する。
- ・評価は、「対象地域に本店(本社)の所在」が確認できる場合に評価する。
- ・特定JV及び経常JVの評価は、各構成員のうちいずれかが当該施工都県内に本店(本社)を所在している場合に評価する。

項目	評価項目	評価基準	評価点
地域精通度・ 地域貢献度	施工都県内における 本店(本社)の所在の有無	対象地域に本店(本社) 有り	1
		対象地域に本店(本社) 無し	0

3-⑤-4. 災害協定締結の有無による評価(新規)

○目的

災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上、及び災害協定を締結した企業の技術力向上に向けた受注機会の確保を目的に、企業における防災に関わる取り組み姿勢について評価する。

○評価タイプ、評価方法

〈評価タイプ〉

施工能力評価型 及び 技術提案評価型S型(チャレンジ型及びWTO除く)

〈評価方法〉

- ・施工都県内に本店(本社)・支店・営業所を有する企業において、審査基準日(競争参加資格確認 申請書提出期限日)における行政機関等との災害協定の有無について評価する。
- ・評価は、『「関東地方整備局(本局および各事務所)」と締結した災害協定あり。』、「施工都県内における国の機関・地方公共団体・特殊法人等と締結した災害協定あり。」に該当する場合に評価する。
- ・経常建設共同企業体にあつては、全ての構成員に災害協定がある場合に限り、評価する。
- ・加盟団体が締結した協定も評価の対象とする。

[地方公共団体]

地方自治法第1条の3に規定する普通地方公共団体及び特別地方公共団体

[特殊法人]

公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律施工令第一条に示す法人

項目	評価項目	評価基準	評価点
地域精通度・ 地域貢献度	災害協定の有無	災害協定 有り	1
		災害協定 無し	0

○目的

女性の建設産業への入職促進や就労継続に向けた環境整備を推進する。

○評価タイプ、評価方法

＜評価タイプ＞

施工能力評価型 及び 技術提案評価型S型(チャレンジ型及びWTO除く)

＜評価方法＞

- ・配置予定技術者の技術力の自由設定項目に配点(1点)
- ・当該工事に女性技術者を配置する場合に評価する。
- ・女性技術者は監理(主任)技術者、現場代理人、担当技術者のいずれかに1名以上配置した場合に加点する。
- ・女性技術者は、施工期間中において専任すること。
- ・女性技術者を複数名配置しても累積加点は行わない。
- ・監理(主任)技術者に配置する場合は競争参加資格要件で定められた資格を有すること。
- ・現場代理人の場合は一級土木施工管理技士又はこれと同等以上の資格(技術士など)を有すること。
- ・女性技術者を現場代理人および担当技術者として配置する場合、同種工事の施工経験は問わない。

項目	評価項目	評価基準	評価点
配置予定技術者の能力	女性技術者の活用	女性技術者の配置	1
		女性技術者の配置を行わない	0

3-⑤-6. 優良下請負企業表彰《新規》

○概要

優良下請企業の表彰の有無を評価する。

○評価タイプ、評価方法

＜評価タイプ＞

施工能力評価型及び技術提案評価型S型(チャレンジ型及びWTO除く)

＜評価方法＞

- ・優良工事表彰の上限の範囲内での加算として配点する(1点)
- ・関東地方整備局(港湾空港関係)発注工事の当該工事種別におけるものとする。
- ・対象期間については、過去3年間を対象とする。
- ・安全管理優良請負者表彰を受賞した場合においても優良工事表彰と併せた配点の上限として設定する。
- ・連続表彰による累積加点は行わない。

評価項目	評価基準	配点			
		施工能力評価型			技術提案評価型
		II型	I型	施工計画重視型	S型
配点の上限	※配点の上限、累積しても点数に上限あり	3		1	2
優良工事表彰	局長表彰有り	2		1	2
	事務所長表彰有り	1		1	1
	優良下請負企業表彰有り	1		1	1
	表彰の実績なし	0		0	0

3-⑤-7. 優秀下請負技術者表彰《新規》

○概要

優秀下請負技術者の表彰の有無を評価する。

○評価タイプ、評価方法

＜評価タイプ＞

施工能力評価型及び技術提案評価型S型(チャレンジ型及びWTO除く)

＜評価方法＞

- ・優良工事技術者表彰の上限の範囲内での加算として配点する(1点)
- ・関東地方整備局(港湾空港関係)発注工事の当該工事種別におけるものとする。
- ・対象期間については、過去4年間を対象とする。
- ・連続表彰による累積加点は行わない。

評価項目	評価基準	配点			
		施工能力評価型		技術提案評価型	
		II型	I型	施工計画重視型	S型
配点の上限	※配点の上限、累積しても点数に上限あり	4		1	3
優秀工事技術者表彰	局長表彰有り	3		1	3
	事務所長表彰有り	1		1	1
	優秀下請負技術者表彰有り	1		1	1
	表彰の実績なし	0		0	0

3-⑤-8. 若手技術者活用評価型(見直し)

優秀な技術者の確保・育成を目的として「若手技術者」を配置した場合、加点評価する「若手技術者活用評価型」として「監理技術者タイプ」・「現場代理人タイプ」の2パターンを設定し、試行工事を実施する。

《対象工事》

- 試行工事 : 監理技術者タイプ、現場代理人タイプ
- 総合評価タイプ : **施工能力評価型 I 型・II 型**・施工計画重視型、技術提案評価型 S 型 (チャレンジ型、WTO以外)

《監理技術者タイプ》

- (1) 配置予定技術者に若手(40歳未満)を配置した場合、年齢に応じて加点する。
- (2) 工事成績の加点は、担当技術者としての施工経験も加点対象とする。

《現場代理人タイプ》

- (1) 若手技術者(40歳未満)を現場代理人に配置した場合に加点する。
また、1級土木施工管理技士又は同等以上の資格を有する技術者。
- (2) 若手担当者(30歳未満)を担当技術者に配置した場合に加点する。
また、資格の有無は問わない。但し、土木系の者に限る。
- (3) 若手技術者・若手担当者の同種工事の施工経験は問わない。

《配置予定の「若手技術者・若手担当者」の条件について》

- ・年齢は申請書提出期限日とする。
- ・若手技術者・若手担当者は施工期間中において専任することが前提。
- ・競争参加申請された建設業者と雇用関係にあること。
- ・右記様式(案)の提出をもって、若手技術者・担当者の確認(証明)とする。

【配点表】

評価項目	施工能力評価型								技術提案評価型			
	I 型・II 型				施工計画重視型				S 型			
	監理技術者タイプ		現場代理人タイプ		監理技術者タイプ		現場代理人タイプ		監理技術者タイプ		現場代理人タイプ	
同種工事の施工経験	4点	◎	4点	◎	2点	◎	2点	◎	3点	◎	3点	◎
工事成績	7点	◎	7点	◎	4点	◎	4点	◎	5点	◎	5点	◎
優秀工事技術者表彰	4点	◎	4点	◎	1点	◎	1点	◎	3点	◎	3点	◎
主任(監理)技術者に若手技術者を配置	3点	◎	-	-	2点	◎	-	-	2点	◎	-	-
現場代理人に若手技術者を配置 担当技術者に若手担当者を配置	-	-	3点	◎	-	-	2点	◎	-	-	2点	◎
自由設定項目	2点	○	2点	○	1点	○	1点	○	2点	○	2点	○
計	20点		20点		10点		10点		15点		15点	

◎: 必須 ○: 選択

3-⑥-1. 技術評価点配点①

項目	細目	評価項目例	施工能力評価型								
			I 型			II 型			施工計画重視型 【標準タイプ】		
			満点	評価点	必須/選択	満点	評価点	必須/選択	満点	評価点	必須/選択
①技術提案	標準的な施工計画	関係法令、共通仕様書等に準拠した施工計画	可・不可(欠格)			◎			20		
	簡易な施工計画書	施工上配慮すべき事項									
②企業の技術力	企業の施工能力	同種工事の施工実績(設計規模) 過去15年間の施工実績	20	6	◎	20	6	◎	7~10	3	◎
		工事成績 過去4年間の工事成績評点の平均点		6	◎		6	◎		3	◎
		工事成績(評価減点)(65点未満の場合)		0~-5	◎		0~-5	◎		0~-5	◎
		優良工事等表彰及び優良下請負企業表彰 当該工種を対象に過去3年間の表彰の有無		3	◎		3	◎		1	◎
		安全管理優良請負者表彰 過去1年間の表彰の有無。関東地整発注(港湾 空港部)		0~-12	◎		0~-12	◎		0~-12	◎
		事故及び不誠実な行為		1~3	○		1~3	○		0~3	○
		自由設定項目									
③配置予定技術者の能力	配置予定技術者の能力	同種工事の施工経験(設計規模) 過去15年間の施工経験	20	7	◎	20	7	◎	10	4	◎
		監理技術者への若手技術者の配置 年齢により配点									
		同種工事の工事成績(資格要件で求めた工 種)過去4年間の工事成績評点		7	◎		7	◎		4	◎
		優秀工事技術者表彰 及び優秀下請負技術者表彰 過去4年間の表彰		4	◎		4	◎		1	◎
		海上工事施工管理技術者、空港工事施工管理 技術者【海上工事は必須、制限区域内は必須】 専門技術資格の有無		1	○		1	○		1	○
		自由設定項目		1~2	○		1~2	○		0~1	○
	配置予定技術者の育成取組	現場代理人・担当技術者への若手技術者の配置									
地域精通度・貢献度	地域貢献度	自由設定項目(東京湾の取組状況【東京湾での 海上工事は必須。ボランティアとの重複選択は NG】)	2~4	2~4	○	2~4	2~4	○	0~3	0~3	○
合 計			40			40			40		

3-⑥-1. 技術評価点配点②

項目	細目	評価項目例	施工能力評価型																	
			I型 【若手技術者：監理技術者タイプ】			I型 【若手技術者：現場代理人タイプ】			II型 【若手技術者：監理技術者タイプ】			II型 【若手技術者：現場代理人タイプ】			施工計画重視型 【若手技術者：監理技術者タイプ】			施工計画重視型 【若手技術者：現場代理人タイプ】		
			満点	評価点	必須/選択	満点	評価点	必須/選択	満点	評価点	必須/選択	満点	評価点	必須/選択	満点	評価点	必須/選択	満点	評価点	必須/選択
①技術提案	標準的な施工計画	関係法令、共通仕様書等に準拠した施工計画	可・不可(欠格)			◎			可・不可(欠格)			◎			20			20		
	簡易な施工計画書	施工上配慮すべき事項													20			20		
②企業の技術力	企業の施工能力	同種工事の施工実績(設計規模) 過去15年間の施工実績	20	6	◎	20	6	◎	20	6	◎	20	6	◎	7~10	3	◎	7~10	3	◎
		工事成績 過去4年間の工事成績評価点の平均点		6	◎		6	◎		6	◎		6	◎		3	◎		3	◎
		工事成績(評価減点)(65点未満の場合)		0~5	◎		0~5	◎		0~5	◎		0~5	◎		0~5	◎		0~5	◎
		優良工事等表彰及び優良下請負企業表彰 当該工種を対象に過去3年間の表彰の有無		3	◎		3	◎		3	◎		3	◎		1	◎		1	◎
		安全管理優良請負者表彰 過去1年間の表彰の有無。関東地整発注(港湾空港部)		0~12	◎		0~12	◎		0~12	◎		0~12	◎		0~12	◎		0~12	◎
		事故及び不誠実な行為		0~12	◎		0~12	◎		0~12	◎		0~12	◎		0~12	◎		0~12	◎
		自由設定項目		1~3	○		1~3	○		1~3	○		1~3	○		0~3	○		0~3	○
		自由設定項目		1~3	○		1~3	○		1~3	○		1~3	○		0~3	○		0~3	○
③配置予定技術者の能力	配置予定技術者の能力	同種工事の施工経験(設計規模) 過去15年間の施工経験	20	4	◎	17	4	◎	20	4	◎	17	4	◎	10	2	◎	8	2	◎
		監理技術者への若手技術者の配置 年齢により配点		3	◎					3	◎					2	◎			
		同種工事の工事成績(資格要件で求めた工種) 過去4年間の工事成績評価点		7	◎		7	◎		7	◎		7	◎		4	◎		4	◎
		優秀工事技術者表彰及び優秀下請負技術者表彰 過去4年間の表彰		4	◎		4	◎		4	◎		4	◎		1	◎		1	◎
		海上工事施工管理技術者、空港工事施工管理技術者【海上工事は必須、制限区域内は必須】専門技術資格の有無		1	○		1	○		1	○		1	○		1	○		1	○
		自由設定項目		1~2	○		1~2	○		1~2	○		1~2	○		0~1	○		0~1	○
	配置予定技術者の育成取組	現場代理人・担当技術者への若手技術者の配置				3	3	◎				3	3	◎				2	2	◎
地域精進・貢献度	地域貢献度	自由設定項目(東京湾の取組状況【東京湾での海上工事は必須。ボランティアとの重複選択はNG】)	2~4	2~4	○	2~4	2~4	○	2~4	2~4	○	2~4	2~4	○	0~3	0~3	○	0~3	0~3	○
合計			40			40			40			40			40			40		

3-⑥-1. 技術評価点配点③

項目	細目	評価項目例	技術提案評価チャレンジ型			技術提案評価S型(WTO以外)									技術提案評価S型(WTO)			
			【標準タイプ】			【若手技術者:監理技術者タイプ】			【若手技術者:現場代理人タイプ】									
			満点	評価点	必須/選択	満点	評価点	必須/選択	満点	評価点	必須/選択	満点	評価点	必須/選択	満点	評価点	必須/選択	
①技術提案	標準的な施工計画	関係法令、共通仕様書等に準拠した施工計画	40 (30)	40 (20×2) 原則2項目(工事内容により1項目設定の場合30点)	◎	30	30 (15×2) 原則1項目(工事内容により2項目設定)	○	30	30 (15×2) 原則1項目(工事内容により2項目設定)	○	30	30 (15×2) 原則1項目(工事内容により2項目設定)	○				
	簡易な施工計画	施工上配慮すべき事項		○	○		○	○										
	VE提案等の技術提案	個別VEテーマの施工計画										30	30 (15×2) 原則1項目(工事内容により2項目設定)	◎				
	工事全般の施工計画	施工上配慮すべき事項事項等の技術的所見										30	30	◎				
	ヒアリング ※必要に応じて実施	配置予定技術者へのヒアリング			○			○			○			○			○	
②企業の技術力	企業の施工能力	同種工事の施工実績(設計規模) 過去15年間の施工実績	5	3	◎	10~13	4	◎	10~13	4	◎	10~13	4	◎				
		工事成績 過去4年間の工事成績評点の平均点			4		◎			4	◎							
		工事成績(評価減点)(65点未満の場合)			0~5		◎			0~5	◎							
		優良工事等表彰及び優良下請負企業表彰 当該工種を対象に過去3年間の表彰の有無			2		◎			2	◎							
		安全管理優良請負者表彰 過去1年間の表彰の有無。関東地整発注(港湾空港部)			0~12		◎			0~12	◎							
		事故及び不誠実な行為			0~12		◎			0~12	◎							
		自由設定項目			2		○			0~3	○			0~3				○
		③配置予定技術者の能力		配置予定技術者の能力	同種工事の施工経験(設計規模) 過去15年間の施工経験		5	4		◎	15		5	◎				15
監理技術者への若手技術者の配置 年齢により配点						2		◎										
同種工事の工事成績(資格要件で求めた工種) 過去4年間の工事成績評点			5		◎			5	◎									
優秀工事技術者表彰 及び優秀下請負技術者表彰 過去4年間の表彰			3		◎			3	◎									
海上工事施工管理技術者、空港工事施工管理技術者【海上工事は必須、制限区域内は必須】 専門技術資格の有無			1		○			1	○									
自由設定項目			1		○			1~2	○			1~2	○					
配置予定技術者の育成取組	現場代理人・担当技術者への若手技術者の配置								2	2		◎						
地域精進度-貢献度	地域貢献度	自由設定項目				2~5	2~5	○	2~5	2~5	○	2~5	2~5	○				
合計			50	(40)		60			60			60		60				

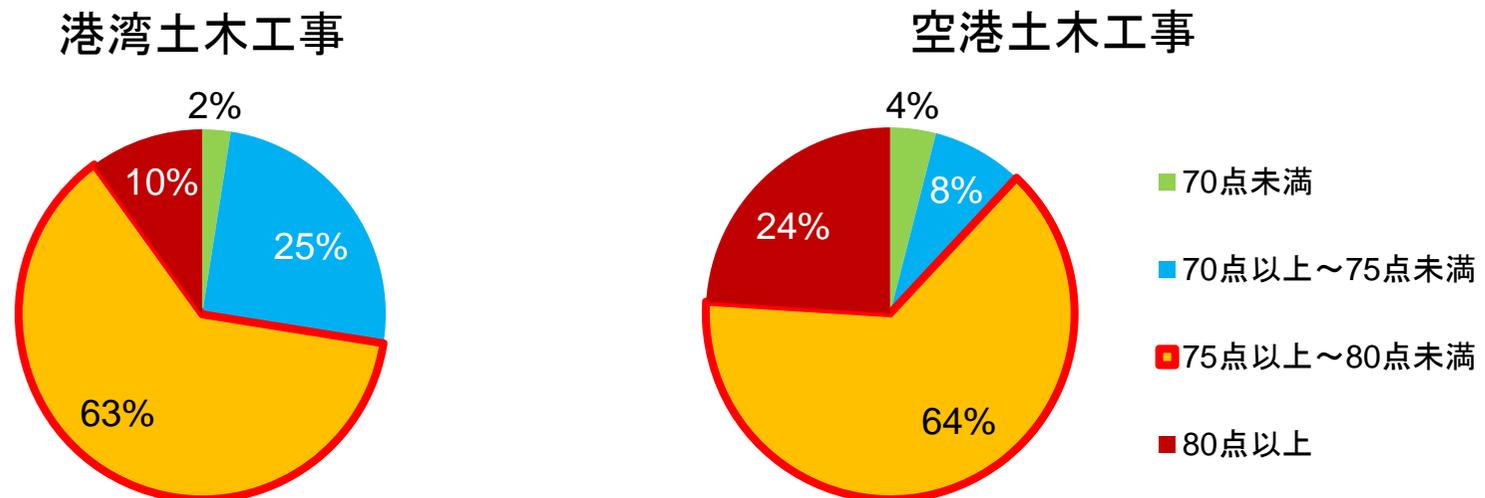
3-⑥-2. 工事成績評価区分の見直し《H29.8公示から実施》

現状の工事成績評価区分では、企業・技術者とも一部の配点範囲に集中し入札参加者の技術評価点に差がつきにくい状況。

【工事成績評価区分の現状（H28年度 港湾土木工事および空港土木工事の例）】

	評価区分(現行)	評価区分別の企業の割合	
		港湾土木工事	空港土木工事
a.	80点以上	10%	24%
b.	75点以上～80点未満	63%	64%
c.	70点以上～75点未満	25%	8%
d.	70点未満(実績なし)	2%	4%

【配点区分別の企業の割合（グラフ 港湾土木工事および空港土木工事の例）】



3-⑥-2. 工事成績評価区分の見直し《H29.8公示から実施》

現状の工事成績を考慮した評価区分に見直し。

【工事成績評価区分の見直し案（平成29年8月公示から実施）】

	評価区分 (現行)	企業の割合	
		港湾土木	空港土木
a.	80点以上	10%	24%
b.	75点以上 ～80点未満	63%	64%
c.	70点以上 ～75点未満	25%	8%
d.	70点未満 (実績なし)	3%	4%

	評価区分 (見直し)	企業の割合	
		港湾土木	空港土木
a.	80点以上	10%	24%
b.	78点以上 ～80点未満	28%	20%
c.	76点以上 ～78点未満	25%	24%
d.	74点以上 ～76点未満	25%	24%
e.	72点以上 ～74点未満	10%	4%
f.	70点以上 ～72点未満	0%	0%
g.	70点未満 (実績なし)	3%	4%

※見直し後の企業割合については参考として港湾土木工事および空港土木工事の例を掲載した。

※工事成績は関東地方整備局(港湾空港関係)発注工事の当該工事種別における当該年度を除く過去4箇年の平均工事成績評定点より評価する。

※直近2年連続平均点が60点未満の場合は欠格とする。

3-⑥-3. 技術評価点配点の見直し(自由設定項目)

企業の技術力

自由設定項目

- ①当該工事に使用する作業船の保有状況
 - ・対象工事に使用する作業船の保有状況 (2点)
 - ・作業船に設置されている環境基準評価 (1点)
- ②ISO認証取得状況 (1点)
- ③当該工事の関連分野の技術開発実績の有無及び有用な新技術の活用 (2点)
- ④登録海上起重基幹技能者の活用(1点)
〔施工能力評価型、技術提案評価型S型(チャレンジ型及びWTO除く)〕
- ⑤建設マスター(優秀施工者国土交通大臣顕彰者)の活用(1点)
〔施工能力評価型、技術提案評価型S型(チャレンジ型及びWTO除く)〕

技術者の技術力

自由設定項目

- ①継続教育(CPD)の取組状況 (1点)
- ②同種工事の役職経験 (1点) →過去4年度の役職経験
- ③配置予定技術者の当該エリアにおける工事実績(2点) (技術提案評価型S型のみ)
- ④女性技術者の活用(1点)

地域精通度・地域貢献度

自由設定項目

- ①東京湾再生の取組状況 (1点)
- ②災害時の事業継続力の認定状況 (1点)
- ③ボランティア活動による地域貢献の実績 (1点)
- ④地元企業の活用率 (2点)
- ⑤地元資材の活用率 (2点)
- ⑥施工都県内における本店の有無(1点)
〔施工能力評価型、技術提案評価型S型(チャレンジ型及びWTO除く)〕
- ⑦災害協定の締結 (1点)
〔施工能力評価型、技術提案評価型S型(チャレンジ型及びWTO除く)〕